

## 西日本少年サッカー大会

### SOGO.S.C.が見事優勝

5月3日～5日、大分県サッカー協会スポーツ公園で「西日本少年サッカー大会」が開催され、田川市のサッカーチーム「SOGO.S.C.」が出場し、優勝を果たしました。

この大会には、福岡県や京都府、沖縄県など15府県の64チームが出場し、予選から決勝まで3日間にわたる熱戦が繰り広げられました。「SOGO.S.C.」は予選の1次リーグを3勝、2次リーグを2勝1引き分けで突破し、決勝トーナメントに進出。決勝戦では、福岡県筑紫野市の「BUDDY FC」と対戦し、3対2のスコアで見事に熱戦を制しました。

また、チームから優秀選手に肥吉航太郎くん（鎮西小6年）と吉村銀河くん（宮若市宮田東小6年）が選ばれました。



▲大勢の観客が見守る中、懸命にボールを追いかける選手たち



▲寄贈されたテレビの前で記念撮影。  
左から岩本さん、伊藤市長、松岡博文副市長

## 大画面をお楽しみください

### 寄贈されたテレビを市役所正面玄関に設置

5月20日、有限会社三愛代表取締役の岩本秀和さんが市役所を訪れ、大型の液晶テレビ1台を寄贈しました。

このテレビは、有限会社三愛が白鳥工業団地内に白鳥太陽光発電所（大規模太陽光発電施設）を建設したことを記念して寄贈されたもの。寄贈されたテレビは、市役所1階正面玄関に設置され、田川市の観光案内や時事情報などが放映されています。

この日、伊藤信勝市長から感謝状を手渡された岩本さんは「今回、太陽光発電所を建設し、無事稼働させることができたのも行政のおかげです。このテレビは、市民のため、地域社会のために活用してもらいたいです」と話しました。

## シリーズ 田川市立病院だより

### 診療科の紹介—麻酔科

当科は、手術時の麻酔や痛みの治療（ペインクリニック）などを行っています。

いずれの場合も、痛みを伝える神経の近くに針を刺して麻酔薬を注射する「神経ブロック」を利用することが多いのですが、この注射は予想していた程痛くないことが多いようです。

神経ブロックをされておくと、さ

れなかった場合よりも手術の後の痛みが少なくなります。また、腰や足、頸（くび）や肩、あるいは帯状疱疹（たいじょうほうしん）の痛みなどにも有効です。

ただし、最近さまざまな病気や予防のために血液を固まりにくくする「抗凝固薬」や「抗血小板薬」などを服用させられている人が増えています。その人は、出血した場合大変危険で

あり、神経ブロックもその種類によっては行えないものもあります。

自分に処方されている薬の確認は、特に手術前には重要です。

麻酔科医長 えんぐち たけまさ  
圓口 雄正



● かわいい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック